

## 報告事項 2

令和 5 年度神戸市就学・教育支援委員会について

令和 5 年度神戸市就学・教育支援委員会について、以下のとおり報告する。

令和 5 年 6 月 6 日提出

神戸市教育委員会事務局

事務局長 高田 純

令和5年6月6日  
特別支援教育課

## 令和5年度 神戸市就学・教育支援委員会について

これまで、障害のある児童生徒について、適切な就学支援を行うことなどを目的に「神戸市就学支援委員会」を開催していたが、令和4年度より名称を「神戸市就学・教育支援委員会」に改め、専門的な助言・意見をいただくように変更した。

今年度も引き続き、特別支援教育全般に関する、助言・意見をいただくべく、同委員会を実施する。

### 【第1回】

#### テーマ：通級指導（6月1日実施）

通常の学級に在籍する障害のある子供たちが、一部の授業において個別の指導を受ける「通級指導教室」に関して意見聴取を実施。拠点校通級・自校通級のあり方、通級担当教員の専門性の向上、校内支援委員会の質の向上等について多様な意見をいただいた。

### 【今後の検討項目（予定）】

#### ・第2回 自閉スペクトラム症（9月下旬）

知的遅れのない自閉スペクトラム症の児童生徒の学びの連続性や、指導の保障等について意見聴取

#### ・第3回 ギフテッド（12月中旬）

特定の分野に特異な才能のある児童生徒の指導支援等について意見聴取

#### ・部会 視覚障害教育（9～1月）

眼科医、学識経験者、保護者代表、校長、視覚障害者団体からなる部会を設置し、市立盲学校を中心とした視覚障害教育について、さらに具体的な方向性を考える。

### 【委員】

（全委員継続）

氏名	所属等	専門等
石倉 健二	兵庫教育大学大学院学校教育研究科教授	発達心理
中尾 繁樹	関西国際大学教育学部長	教育心理
小林 大介	兵庫県立こども病院整形外科部長	整形外科
上原 奈津美	神戸大学医学部附属病院耳鼻咽喉科助教	耳鼻咽喉科
高田 哲	こども家庭局総合療育センター部長（診療担当）	小児科
中西 裕子	神戸大学医学部附属病院眼科准教授	眼科
河崎 洋子	神戸医療福祉センターにこにこハウス施設長	小児神経科
関口 典子	兵庫県立こども病院精神神経科部長	児童精神科
西田 和子	学校法人誠昭学園 キックオフチャイルド・ケアセンター児童発達支援管理責任者	言語聴覚士
二宮 啓子	神戸市看護大学教授	小児看護学

【参考】

拠点校通級指導教室と自校通級指導教室の比較

	拠 点 校 通 級 指 導 教 室	自 校 通 級 指 導 教 室
対象児童生徒の障害種別	言語障害、難聴、情緒障害、発達障害	情緒障害、発達障害
形態	児童生徒が他校において通級による指導を受ける形態	児童生徒が在籍する学校において通級による指導を受ける形態
通学	保護者の付き添い 必要	保護者の付き添い 不要
担当教員	幼、小、中の複数校種配置	1人配置
教員の専門性の確保	複数の担当者が配置されており、経験のある専門性の高い担当者に相談したり助言を受けたりできる	各校1人の配置のため、専門性の向上のための研修体制を構築する必要がある
研修体制	「資質の高め合い」「専門性の高い講師を招いての研修」「他教室との連携を図った研修」	専門性の高い拠点校通級指導担当教員から助言を受けたり通級指導に係る研修を受けたりする
児童生徒数（R5.5.1 現在）	616人（幼児除く）	592人
R5年度教員配置数	42人	40人